

第 175 号

発行日
2025. 3.18

Super Highway 春闘速報 23

J R 東労組バス関東本部

申 9 号 2025 年度賃金引上げ等に関する申し入れ

第 2 回団体交渉開催！

17 日 15 時半より本社会議室において、申 9 号について議論を行ってきました。

組合の主張

◎今回の春闘に対して組合員・社員、家族には赤字続きの中を懸命にやって乗り越えてきたという強い思いがある。他会社はしっかりとベアを上げている中、人材流出という危機感もあり、バス関東としてもベア 1 万 5,000 円を目標に考えていただきたい。金利等も上がっていて、我々が要求するベア額でも足りないという声もある。

◎都内勤務の運転士で 20 万 2 千円、その上を行く他会社が多くなっており、このままでは採用の面でも見劣りする。代表的にコメが騒がれているが、物価上昇している中で生活が厳しい。出先で食事をする場面では、家での生活費以上の負担になる、この会社特有のことである。奮闘して黒字が続けられるよう会社の施策に向き合っている。社員のモチベーションを上げる事が出来る回答になるか、今回の賃金は大きな節目であると思う。

会社の考え

◎ベースアップと賞与は性質上異なり、業績の跳ね返りではなく将来への見通しになる。赤字が黒字になったというのはあるが、あまりそこは見えていない。物価が 5～6%上がっている中で、昨年と同額だった場合は 2.44%であり、なかなか物価上昇に追い付いていないと認識している。新しく中期経営計画を作るが、相当先を見て作るのがベースアップである。

◎採用は初任給の金額を上げ、社員 3 等級が無くなったように、採用の賃金は一定程度整理できた。今回の提案でもわかるように現在働いている方にしっかりやらなければいけないと考えている。会社としてできる限りのものをお示しするが、賃金に関わらず、他のことでも取り組んでいくというのは引き続きやっていく。

運賃改定、車両やシステムへの投資、57 歳減額廃止や 65 歳定年の話などもしました。

※議事録等、詳しい内容は組合員の皆さんに別途お知らせします。

J R バス 関東で働く仲間を一つに！